

## 平成28年度 長崎県大学図書館協議会総会の議事要旨

日 時： 平成28年7月7日（木）14：30～16：50

会 場： 長崎国際大学 大学本部棟2階本会議室

出席館： 11館（23名）、欠席館なし

長崎県立大学 シーボルト校（武藤・川原・溝上）、佐世保校（石田・豊村）、長崎総合科学大学（山川）、活水女子大学（黒木・奥村）、長崎純心大学（岩崎）、長崎国際大学（山本・飯島・河野）、長崎外国語大学（マラ・別所）、長崎ウエスレヤン大学（天野）、長崎女子短期大学（森）、長崎短期大学（岩崎）、佐世保工業高等専門学校（時田・岳山）、長崎大学（中田・近藤・西村・下田）  
オブザーバー：長崎県公共図書館等協議会（谷本）

### 開会

#### 1 会場館挨拶

長崎国際大学図書館 山本館長より挨拶があった。

#### 2 代表幹事館挨拶

長崎大学附属図書館 中田館長より挨拶があった。

#### 3 自己紹介

長崎県立大学から着席順に自己紹介を行った。

#### 4 議長の選出

慣例により、会場館である長崎国際大学の山本館長が議長に選出された。

#### 5 総会成立

過半数の館出席のため、総会が成立するとの報告と長崎県公共協議会からのオブザーバーの出席について、議長より説明があった。

#### 6 議題

##### (1) 平成27年度事業報告・決算報告・監査報告について・・・（資料1～2）

平成27年度事業報告と平成27年度決算報告について、事務局担当（長崎大学 下田班長）から、資料をもとに説明があった。また、平成27年度監査報告については、佐世保工業高等専門学校の時田係長より適正との報告があり、ともに承認された。

1) 実務者研修会①（テーマ：図書館員のためのPR実践講座-味方づくり戦略入門）と実務者研修会②（JAIRO Cloudによる機関リポジトリの構築）を開催した。

2) 長崎県公共図書館等協議会との合同研修会（テーマ：NDLデジタル化資料送信サービスとデジタルコレクションの利活用）を開催した。

3) 外注により、当協議会ホームページを改修し、メンテナンスが困難な項目をメニューから外すとともに、残りの項目を最新の内容に更新した。また、電話による個別対応で各館情報の更新を図った。

##### (2) 平成28年度役員館等の選出（案）について（資料3）

平成28年度役員館等の選出（案）について、事務局担当（長崎大学 西村班長）から、ローテーション表をもとに説明があり、平成28年度分の役員館等について承認された。

##### (3) 会則の一部改正（案）について（資料4）

会則の一部改正（案）について、事務局担当（長崎大学 西村班長）から資料

をもとに説明があり、第8条第4項「会費は、年間10,000円とする。ただし、代表幹事館については、会費を免除する。」について、「ただし」以降を削除し、「会費は、年間10,000円とする。」と改正することが承認された。

(4) 平成28年度事業計画(案)及び予算(案)について(資料5・6)

平成28年度事業計画(案)と平成28年度予算計画(案)について、事務局担当(長崎大学 西村班長)から、資料をもとに説明があり、ともに承認された。

1) 研修会・講演会

- ① 国立国会図書館を使いこなす：9月5日(月)  
長崎県公共図書館等協議会との合同実務研修会
- ② 電子コンテンツと著作権：10月～12月頃
- ③ JAIRO Cloudによる学術機関リポジトリの構築：1月～3月頃

2) 新規事業

Library Lovers'キャンペーン

九州地区大学図書館協議会事業として実施されてきたこのキャンペーンが昨年度をもって終了したため、今年度も引き続き当協議会で開催したいという提案が長崎大学 西村班長から出された。この提案について、長崎外国語大学 別所事務室長補佐より、過去の九州地区での同キャンペーンに参加出来た館がどれくらいあるのか、また、予算案8万円という金額は、予算全体で占める割合が大きいという根拠についての質問があった。長崎大学 西村班長から、参加館が未確定であり、予算案8万円というのはグッズ代等としておおまかに想定した金額であるという回答があった。

Library Lovers'キャンペーンの開催については原案どおり承認され、ワーキンググループの人員等、キャンペーンの実施方法等は、今後検討することとなった。

3) 継続事業

当協議会ホームページについて、セキュリティ上の問題からホームページサーバーの維持管理が困難であるため、今年度末に廃止したいという説明があった。

審議の結果、来年度以降は、長崎大学附属図書館のホームページサーバー内に簡単なページを作成した上で、不都合があれば今後検討することとなった。

なお、平成28年度予算計画(案)について、長崎県立大学佐世保校 石田館長より、このままではいずれ予算が不足するのではないかという意見が出された。

長崎大学 西村班長から、今年度は繰越金があり、資料6の予算案としたが、講演会の講師を県内から呼ぶなどすれば、予算が抑えられるという説明があった。また、今後会費の値上げを含めて検討することとなった。

7 報告等(資料8)

(1) 承合事項1「雑誌の除却 保存について」(提出：長崎国際大学)

承合事項1についての趣旨説明が、長崎国際大学 飯島課長からあった。

本学は、開学以来雑誌を保存しているが、図書館の狭溢化のため、これらの雑誌処分をする予定である。そこで、雑誌を処分するにあたり規程等がないため、各館の状況を伺って参考にするため承合事項を提出した。

(2) 承合事項2「電子ジャーナル・データベースの利用率向上の取り組みについて」

承合事項2についての趣旨説明が、佐世保工業高等専門学校 岳山主任から

あった。いくつかの電子データ・電子ジャーナルの契約をしているが、予算が年々減額されている状況で、これらにかかる経費は大きな負担となっている。この状況下での契約を継続するためにも、利用率を上げる取組を伺いたく承合事項を提出した。

これに対し、議長から承合事項は、時間の関係で、各館で後で確認して参考になる内容に関しては、取り入れる等してほしいという説明があった。

## 8 その他

- (1) オブザーバーの長崎県公共図書館等協議会 谷本副館長より、参加のお礼と以下のとおり報告があった。

長崎県立図書館では、大村市に大村市立図書館との合築として、図書館を建築予定である。その所蔵能力は202万冊で、現在の県立図書館の所蔵分115万冊と、大村市立図書館の所蔵分を併せても若干余裕がある。是非活用していただきたい。また、相互貸借等もっと利用して欲しい。

また、県立図書館の役割として、資料の収集・保存を行っており、県内で最後の1冊を残す取組をしている。大学図書館等で本を除籍される場合は本館資料課にご一報願いたい。本館に所蔵がなければ全て受け入れ、各大学等に相互貸借したい。

- (2) 長崎純心大学 岩崎室長より、以下の件について来年度の総会で検討してほしいという要望が出された。

長崎県大学図書館協議会会則(付録2)の第7条の第2項

「幹事館は3館とし、代表幹事館1館を幹事館の互選により選出する。その任期は1年とし、総会の翌日から次回の総会の日までとする。…」と、第9条「本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。」は、時期のずれがあり混乱を来すため、できれば、前年度に来年度の代表幹事館を決めるよう規則の改正等含めて検討して頂きたい。

オブザーバーの谷本副館長より、公共図書館長等協議会においても同様の問題があり、本年度の総会において来年度の役員を決めるよう改めたとの意見もあり、幹事館で検討することとなった。

## 9 次年度会場校挨拶

佐世保工業高等専門学校 時田係長より挨拶があった。

## 閉会

以上をもって議事を終了した。

なお、閉会后、希望者のみ、会場館である長崎国際大学図書館を見学した。

以上